

道路調査設計ノウハウ集(改訂版)の発刊にあたって

道路調査設計ノウハウ集は、「公共工事のコスト縮減」・「若手道路術者の技術力向上と技術の伝承」を大きな目的として、道路調査設計研究会（初代委員長：福田正 東北大学名誉教授）が編纂し、平成 11 年 10 月に初版が発刊されました。

発刊以来、総発行部数は 5 千部を超え、全国の多くの道路技術者に活用されている技術図書となっております。

今回、初版編纂作業から約 20 年が経過し、政令（道路構造令）・基準等の改訂や新たな社会情勢への対応が求められるようになってきたことから、大規模な改訂作業を行うことと致しました。

改訂にあたって、初版同様に各行政機関・受託者を対象とし、道路調査設計の実務で培われた技術的な経験、疑問点や留意点、初版への意見等についてのアンケート調査を実施しました。その結果、約 360 件のノウハウが集まり、これらを基に初版の見直しや新たな作成、集約等を行い、総ノウハウ数 238 件として編纂しました。

今回の主な改訂内容としては、公共工事を進めていく上で重要な要素となっている環境関連事項を新たに環境部門として切り出し、これまでの 4 部門構成（空中写真測量、路線測量、地質調査、道路設計）から 6 部門構成としました。また、情報通信技術（ICT）の導入や供用後の維持管理を意識したノウハウも加えました。

作業にあたっては、道路調査設計研究会（新委員長：遠藤孝夫 東北学院大学教授）において、建設コンサルタンツ協会東北支部技術部会道路専門委員会が呼びかけ、各関係機関の協力を得て進めてきたところです。

本書が今後益々多くの道路関係技術者に活用され、業務の効率化とコスト縮減、そして技術力の向上に寄与することを期待しております。また今後も、技術の蓄積と内容の強化を図っていく所存でありますので、ご利用される皆様の意見をお待ちしております。

平成 30 年 3 月
道路調査設計研究会